

グローバル・カフェ「コロラド州立大学学生歓迎イベント」を開催しました

2023年5月22日(月)12時10分から、グローバル・カフェでは「コロラド州立大学学生歓迎イベント」を開催しました。本学の学術交流協定校であるアメリカのコロラド州立大学(以下、CSU)から、本学教育学部のプログラム「アジア・アメリカ異文化交流短期受け入れプログラム2023」に参加し、日本語や日本文化を学ぶために来日している学生14名と、引率のCSU外国語学科講師 Chisato Steele(新居千里)先生を迎えて実施した本イベントには、香川大学から学生32名(留学生15名、日本人学生17名)、教職員9名の計41人が参加しました。

CSUの学生たちは、国籍も多様で主専攻は様々なコースに在籍していますが、副専攻として日本語を履修しています。イベントでは、ひとりずつ一つのトピックについて、日本語で紹介してくれました。

まずは、コロラド州についてで、位置、気候、食べ物、スポーツ、ロッキーマウンテン国立公園、州都のデンバーについての紹介がありました。コロラド州では、アメリカバイソンの肉を使った料理が人気であること、また、ロッキー山脈の一番高い部分がコロラド州にあることから、ハイキング、スキー、ロッククライミングが人気であること、標高が高いため、オリンピック選手がトレーニングを行うための施設である「米国オリンピックトレーニングセンター」があることなどが紹介されました。

続いて、CSUについて、学生数、授業料、大学のマスコット、大学スタジアム、人気のある学部について、説明していただきました。CSUは、獣医学分野において米国内でトップ3の大学と評されていることもあり、自然資源学部の野生生物学がとても人気があるそうです。CSUの学生の一人のサブリナさんは、野生生物学を専攻しており、大きなキリンと一緒に撮影した写真を交えながら、自然資源学部の施設紹介をしてくれました。

質疑応答の時間では、日本人学生よりCSUの授業料について、「コロラド州在住者に対しては年間400万円であるのかかわらず、コロラド州外在住者には年間700万円なのはなぜか」との問いがあり、「州立大学であるCSUは州政府から財政支援を受けており、州税を支払っている州在住者は、その恩恵を受けることができる」とことや「州在住者に対して、授業料を低く設定することで、地元の学生により多くの受け入れ枠を提供できる」とことが、理由として例に挙げられました。その他には「好きな日本のアニメは?」との質問に、「ワンピース」「ナルト」など日本の有名なアニメが挙げられました。CSUの学生からは「高松で訪れるべきところは?」とあり、「小豆島」「栗林公園」「屋島」という有名な観光名所が挙げられるなか、香川大学に留学中の留学生から「ゆめタウン!」という声が挙がると、

会場からは笑いと拍手がおこりました。イベント終了後も日本人学生と CSU の学生たちは、アニメやゲームの話など交流を楽しみ、昼食をとり食堂へ一緒に向かう姿も見られました。

CSU 学生の本学での履修内容は、本学教員による日本語学習、日本文化紹介、本学教育学部開講科目の授業参加、日本語講義履修ならびに施設見学などのフィールドワーク（計 6 単位）の予定です。CSU では、この実施科目は「夏季短期留学プログラム」と位置付けられており、日本語を副専攻する学生の参加が奨励されているとのことです。

次のイベントは 5 月 24 日（木）の映画イベントです。スケーターガール（2021 年、インド）を鑑賞します。



イベントの様子